

3 研究のまとめ

(1) 成果

- 楽譜で確かめる活動を通して、曲の特徴（聴き取ったことや感じ取ったこと、その関わり）と楽譜を結び付けられることが分かりました。今後の表現領域における工夫にもつながると考えます。
- 楽譜を取り入れたワークシートを作成しました。音楽の特徴について確かめたり記述したりするための工夫を取り入れることにより、ほとんどの児童が楽譜から音楽の特徴に気付き、曲想と音楽の構造との関わりについて記述することができました。

(2) 課題

- 音楽を形づくっている要素の意味について、分かりやすく教える必要がありました。児童のワークシートの記述において、「リズムが激しい」「リズムが速い」「リズムが強い」という記述が多いことから、具体的な記述例を挙げるなどの手立てが必要でした。
- 音楽を形づくっている要素と関連付けた記述ができていない状況がいくらかありました。楽譜から気付いたことを確かめるときに、曲を部分的に流して確認させると、曲想と音楽の構造との関わりをより理解することができたと考えます。